

【はじめに】

こんにちは。芸術文化学科の大木泉水です。もう4月が終わってしまったのかと、少し焦りながらこの一カ月を振り返っています。私にとってこの4月は気分が上がらず、自分の行動に感情がついてこない少し辛い時期でした。思い当たる原因は色々あるのですが、5月から気分を入れ替えるためにも、4月の生活ぶりをまとめたいと思います。

【大学】

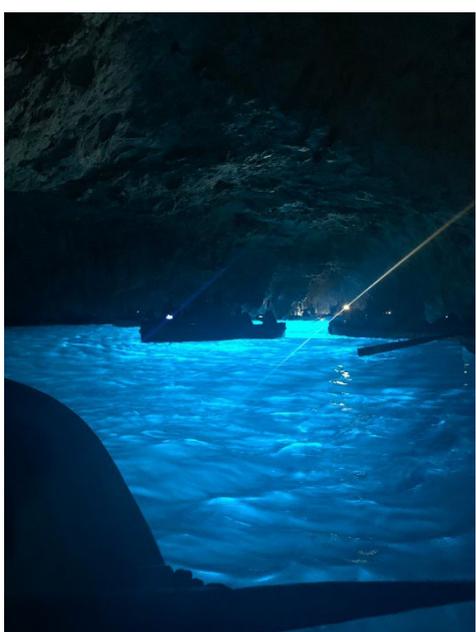
4月はイースター休みがあり、授業も終わりに近づく、そんな時期でした。芸術記号論の授業は、芸術が私たちの目にどう映り、何を意味するのかという難題の真髓を先生の抽象表現から学生があらゆる視点で探っていました。イタリア語の授業を聞くだけでも精一杯、自分の意見や考えを言語化することは言語の壁以前に、知識や自分の意見を持つという思考力の現実に向き合わせられました。イタリア人学生の学びへの向き合い方には尊敬します。中世芸術の授業は英語で受けており、イタリア語と英語という母国語と離れた語学を並行すること、イタリア語訛りの英語に慣れてきていること、そんなことに焦りを感じて辛かったです。しかし、これも留学してこそできた経験だとプラスに受け止めます。

【旅行といろいろ】

4月の上旬から中旬にかけて、イギリス・ロンドンとオランダ・アムステルダムに行きました。ロンドンは、就職活動のイベントがあったため行きました。1月にロンドンに来て、こんなにすぐにロンドンに戻ってこられるとは思っていませんでした。イベント以外の日は、憂いを晴らすためにソールズベリーのストーンヘンジや教会に行ってリフレッシュをしました。アムステルダムまでは、乗ってみたかったユーロスターで海底トンネルから国境越えをしました。大した事はなく、正直飛行機のほうが安くて時間もかからないので、今度からは飛行機にしようと思いました。アムステルダムでは、ちょうど時期であったチューリップ畑を観に行きました。私が好きなオランダ絵画も見ることができました。

4月の下旬には、中国人の友人とナポリとカプリ島、イスキア島に行きました。ナポリではポンペイ遺跡を見て回りました。カプリ島では、青の洞窟を見たり、リフトで山に登ったり、自然の美しい景色を目にしました。イスキア島は、カプリ島よりも人々の生活に近いリゾートを体感しました。ずっと見たかったイタリアの海をみてリフレッシュした休暇でした。イスキア島からナポリにフェリーで戻る際に、20分程遅延しました。イタリアでは遅延がよくあることなので、乗り継ぎをする際には前もって見込む必要があります。港からバスかトラムでナポリ中央駅に向かう予定でしたが、近くにいた人とタクシーを乗り合わせて駅まで向かいました。FIATを運転するタクシードライバーは対向車線にはみ出してまで渋滞の列を抜いていき、ルパン三世のワンシーンのようでドキドキしました。

行く場所、見るもの感じるもの、全てが初めてでも、何とかやっていける適応力が身についたことを留学してから感じています。国や地域によって電車やバスの乗り方が違うこと、働き方の違い、パーソナリティの許容範囲、ほとんどが日本より緩い基準で生活しています。良くも悪くも、日本はシビアな環境をもっています。自分が生まれてきた日本という国に誇りを持ちますが、就活のイベントでスーツを着た学生の集団、テンプレートに沿った面接、そのなかでしか出せない個性、本当の自分、海外と日本の違いや他人と自分を無意識にも比べてしまい、理想も見えない苦しい時期ではありました。うまくいった、いかなかった、内省と結果に一喜一憂して生活が滞ってしまいました。そんななか、リフレッシュすることに努めたり、友人が心の支えになってくれたり、そんな環境に感謝しています。結果はどうあれ、結果まで導き出す努力をした自分自身を称えようと思います。



左上：ストーンヘンジ

中上：マーティン・バース【時計】

右上：アムステルダム駅前の運河

左：青の洞窟（grotta azzurra）

【5月の目標】

心地いい風を感じる季節になって、今まで目に留めなかったものに目を向けてみようと思います。そして、自分の研究テーマに近い教授に文献を勧めてもらい、友人にもイタリア語の本を勧めてもらったので、読書をしたいです。小さな喜びと希望にあふれる5月になりますように。